

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2019 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	26_1/1_5	日本で一番すみよい街へのチャレンジ	北九州市
アイデア名(注2) (公開)	安心して出かけよう！日本で一番子育てしやすいまちへ		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2019 サイトの中に記載してあるエントリー自治体(連合)が掲げる地域課題を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームが応募されるアイデアにつけるものです。アイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名(公開)	小林ゼミ2年		
チーム属性(公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数(公開)	2名		
代表者情報	氏名(公開)	大城楓香	
メンバー情報		三宅有紀	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2019\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2019 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2019@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「3. 自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの理由、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### （1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

- ・まちなかにある「赤ちゃんの駅」の機能がニーズと合っていない。
- ・幼児や子育て世代の求める施設、場所が少ない。
- ・子育て世代、若者世代へ北九州の魅力発信ができていない。

<解決アイデアの内容>

- ・北九州発祥の「赤ちゃんの駅」をさらに使いやすい場所としてリニューアルする。
- ・「赤ちゃんの駅」とは乳幼児を抱える保護者が気軽に外出できるように授乳やおむつ替えなどで立ち寄ることができるような施設のことで全国で447の自治体が入力している。現在は授乳スペース、おむつ替えができる設備のどちらか一方を提供できれば「赤ちゃんの駅」に登録することができるが授乳を授乳室でするニーズが低下していることからおむつ替えできる設備があれば「赤ちゃんの駅」に登録できるシステムへと変更する。
- ・現在まちなかにある「赤ちゃんの駅」のほかに幼児を対象とした「子どもの駅」、親子で休憩するためや、ベビーカー離れた子どもが休憩できるための「みんなのリビング」という仕組み作りをし、店や商店街の一角などまちのあらゆる場所に設置する。後述のロゴマークをつけることで誰でも気軽に休憩できるスペースだとわかりやすく示す。
- ・現在、屋内の授乳スペースは限られており多目的トイレやトイレの個室で行っている人もいるが衛生的に良くないため、お母さんも赤ちゃんもリラックスして授乳できるスペース「ミルクタイム」を作る。閉め切られた場所ではなくあえて明るく開けた場所にすることで快適かつ不審者対策に配慮した場所につくる。オープンに授乳できる場所と認知されることで人目をさけるべきという授乳のイメージを変えていく。このように「新赤ちゃんの駅」、「子どもの駅」、「みんなのリビング」、「ミルクタイム」を新しい仕組みとして北九州から全国に普及させる。
- ・子育てのしやすい環境をまち全体で作り、それにより利用できる世代が広がることでより子育てしやすいまちとなり、ほかの自治体との差別化を図ることが北九州の魅力となる。
- ・登録の条件、仕組みの内容  
「赤ちゃんの駅」  
おむつ替えができる台とそのスペースがあることが登録の条件。  
\*「赤ちゃんの駅」に授乳スペースを設けていない理由については授乳を屋内でする傾向が年々減ってきているため。  
現在ある「赤ちゃんの駅」をおむつ替えに特化して普及していく。  
また「子どもの駅」の子どもが着替えるための仕切られたスペースが屋内の授乳スペースの役割も果たす。



### 「子どもの駅」

子供用のトイレがあること、仕切られた着替えスペースがあることが登録の条件。

・トイレトレーニングをする子どもは身体的な成長だけでなく精神的な成長が著しく親から指示されることを嫌い自分でしたいという気持ちが芽生える。その気持ちに応えるために低い壁をつけることで幼児も大人同様トイレができ、かつ親が安心して見守れるつくりにする。

・着替えスペースは、現在「赤ちゃんの駅」にある1歳くらいまでの乳児より大きい子が立っておむつを替えるためにあり、またトイレトレーニング中の子どもがトイレを失敗してしまった時の着替えスペースとする。また椅子を用意し授乳スペースとしても活用できる。



### 「みんなのリビング」

座れる場所があること、絵本やおもちゃがあり子どもが遊べる場所があることが登録の条件。



・みんなのリビングはベビーカー離れた赤ちゃんとお母さんと一緒に休憩できるスペースとする。また現在幼児の遊び場がまちなかにあまりないことから、まちなかに遊び場を増やし子ども同士の交流の場として活用できる。



### 「ミルクタイム」

・赤ちゃんにとってもお母さんにとっても快適に授乳ができること、閉め切られた場所でないところが登録の条件。

・現在授乳を授乳室とするニーズが低くなっていることや、保護者が求める場所に多くリラックスできる場所が入っていたため、開放的で気持ちの良いかつプライバシーが保たれる場所で授乳していく仕組みを作ることで公共の場での授乳の認知、普及を高めることを目的とする。

### ロゴマーク



「子どもの駅」



「みんなのリビング」



「ミルクタイム」



### 発信していくための方法

・北九州市が行っている子育て支援の情報を一つに集約し、冊子やサイトにまとめる。

「モノさんぼ」という北九州市立大学地域創生学群の小林ゼミが発行しているモジュール沿線路上を活性化するための冊子子育て版として作成する。

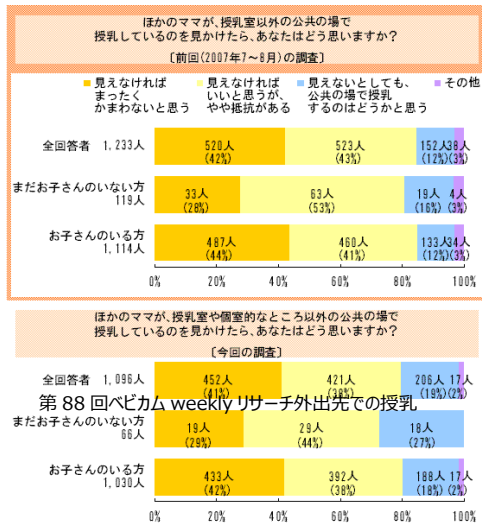
→冊子は、「赤ちゃんの駅」「子どもの駅」、「みんなのリビング」、「ミルクタイム」や駅、お店にフリーペーパーとして設置し、気軽に受け取れるようにする。

	対象	機能	備考
赤ちゃんの駅	乳児	おむつ替え台最低1台	
じゅくや	乳幼児	トレーニング用トイレ最低1台 (小便器があるとよい) 着替えスペース(2㎡) 椅子	・子どもの着替えスペースが授乳場所にもなる
みんなのリビング	乳児	座れる場所 子どもが遊べるスペース(18㎡以上) おもちゃ	・地域の人誰でも来られてみんなで子育てできるような環境を作る ・乳幼児が優先で使用する
ミルクタイム	乳児	授乳できるスペース(5㎡) ベンチ	・快適な場所で不審者対策にした場所

## (2) アイデアの理由 (公開)

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

### ① 公共の場での授乳についてアンケート



第 88 回ベビカム weekly リサーチ外出先での授乳

2009年6月12日~6月15日

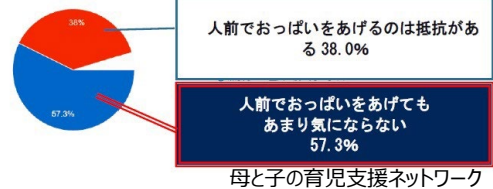
・公共の場で授乳しても構わないと思う人の割合が

7割以上を占めており公共の場で授乳することに対して賛成派が多数であることがわかる。

### ② 人前で授乳することの意識

Q11 あなたはどちらかというどちらのタイプですか。

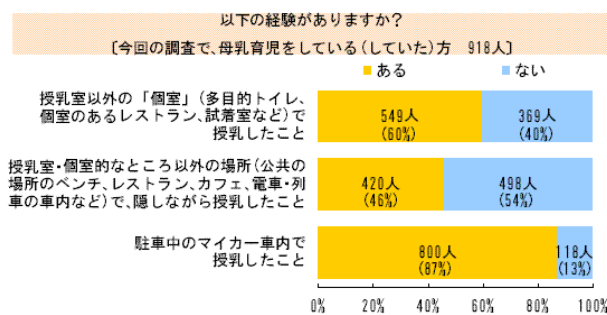
1,289件の回答



2018年2月13日

・人前で授乳することが気にならないことが分かる。

### ③ 授乳室がない場合の授乳について



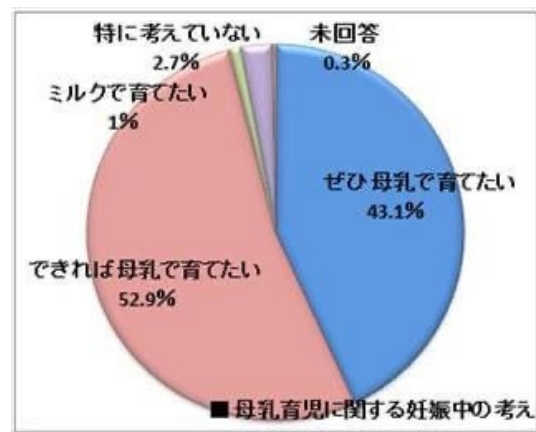
第 88 回ベビカム weekly リサーチ外出先での授乳

2009年6月12日(金)~6月15日(月)

・車の中という答えが一番多いが個室のある多目的トイレ

公共の場所で授乳するという人も多くいることがわかる。

### ④ 母乳育児に対する回答



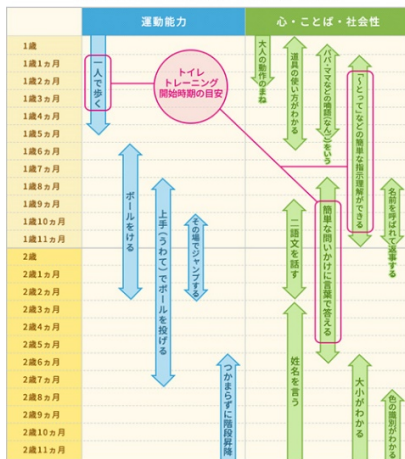
2005年乳幼児栄養調査

母乳とミルクの違いとは？たま goo

・ぜひ、できれば母乳で育てたいと回答した人が96%だった。  
96%の人が母乳を外で授乳できる環境でなければならぬ。

### ⑤ 1歳～3歳までの発達の目安

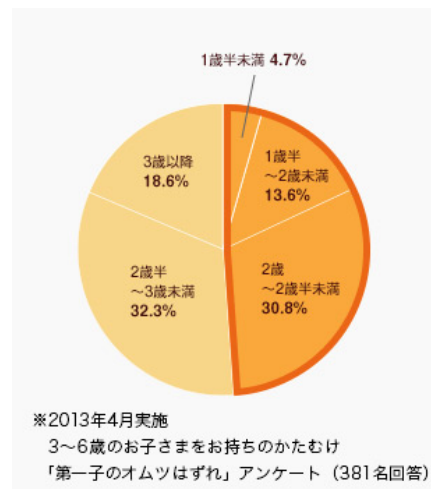
1歳から3歳までの発達の目安（運動能力・社会性）



ベネッセ教育情報サイト

1歳～3歳ごろは体の発達が目覚ましく  
いろいろな動作ができるようになってくると同時に、  
自我が発達し親から指示されることを嫌う。

### ⑥ オムツはずれの年齢



約 5 割の子どもが 2 歳半までに  
トイレトレーニングを始めることが分かる。

### 授乳について

①のデータから公共の場で授乳しても構わないという人が 7 割以上を占めていることが分かる。また②のデータから授乳を人前ですることが気にならないことが分かる。しかし③のデータから自分が授乳するときには車の中、個室、または公共の場で授乳する際は隠れてすることが多いことが読み取れる。また④のデータから母乳育児を求める声が多いためプライバシーや不審者対策が必要なのも読み取れる。このことから、授乳をオープンにできるが保護者が安心して授乳できるような環境づくりが必要だということが分かる。

### 幼児の施設づくりについて

⑤のデータから 1～3 歳は身体の成長とともに精神の成長もめまぐるしいため、幼児の自我に応え自分でできる環境を作ることで子どもの成長に良い影響を与えることができると考えられる。幼児が一人でできるという自我を尊重するために低い壁を設けて子どもだけのスペースを作る必要があることが分かる。また、⑥のデータからトイレトレーニングを始める年齢が 1～2 歳半が約半数いることから、小さいトイレの需要は子どもが生まれて 1, 2 年ほどで必要になることが分かる。



### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大ききな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大ききな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

#### アイデア実現主体

北九州市役所子ども家庭局総務企画部(「旧赤ちゃんの駅」の登録を管理しているため)

・市役所に新たに駅を作ることをの提案と登録の基準について提案する。

#### 実現に必要な資源

ヒト 小倉で活動している NPO 団体、魚町商店街で活動している団体、個人

モノ 民間に依頼

ネーミングライツパートナーや、商店街、小倉で活動している人に協力依頼

カネ ネーミングライツパートナーや商店街の協力してくれる団体に依頼

#### プロセス

内容/期間	2020年	2021年	2022年
「新赤ちゃんの駅」 「子どもの駅」 「みんなのリビング」	取材 モノさんぽ・ 子育て支援冊子作製	テスト版運用	運用
資金調達	育児用品メーカー pigeon、幅広い世代の教育事業を行う株式会社ベネッセコーポレーションなど子育て支援に関連する会社にネーミングライツパートナーになってもらう。それぞれの駅に置くおもちゃや絵本、商品を提供してもらい、試供品など積極的おける環境をまちのなかにつくることで子育て支援を整える。		

